

令和2年度第1回中空知定住自立圏共生ビジョン懇談会書面開催結果（1）

■意見書集約期間

令和2年12月18日～令和3年1月5日

■付議案件

意見あり・・・ 1名
意見なし・・・ 23名（事務局への要望 1名）
無回答・・・ 3名

※委員数27名に対し、意見書提出24名。中空知定住自立圏共生ビジョン懇談会設置要綱第6条第2項により委員の過半数の提出があったことから、懇談会（書面開催）は成立する。

議題（1） 第2期中空知定住自立圏共生ビジョンの進捗状況について

【委員】

●基本目標の出生者数が増加に設定していることに疑問を感じます。産業振興分野では事業所数、従業員数の目標を減少に設定していることと整合性が取れないと思います。

《事務局》

- 出生者数の目標値については、各市町で策定している『人口ビジョン』と整合を図った目標設定としています。
人口ビジョンでは、各市町が策定する総合戦略に掲げる子育て支援策等の取り組みを着実に実行することで出生率向上、転出超過が改善すると仮定し、市町独自推計を算出しているため、出生者数増加という目標を掲げております。
- 一方で、事業所数や従業員数については、人口減少下における近年の実績をもとに、生産年齢人口（15歳～64歳）の減少、老年人口（65歳以上）の増加を考慮し、目標値を設定しております。このため、目標値が減少という設定になっておりますが、中空知定住自立圏としましても圏域での雇用を確保するため、各市町での取り組みの他、なかそらち合同企業説明会等、市町間との連携を通じて、事業所数・従業員数の減少を出来る限り食い止めてまいりたいと考えております。
- それぞれの目標値は、各市町の積み上げにより算出しているため、今すぐに目標設定の修正を行う事はできませんが、いただいたご意見は、今後の課題として検討させていただきたいと考えております。

議題（2） 第2期中空知定住自立圏共生ビジョンの改訂について

※委員からの意見なし

議題（3） 今後のスケジュールについて

【委員】

●今後、災害も広域化が考えられることから、圏域住民の安全を確保する為に、よりスピーディで多くの情報を届けることが大事になると思います。地域コミュニティラジオの圏域での利用を期待します。

《事務局》

- 各市町において災害時等の伝達手段に対する考え方があり、既に個別に防災無線などのインフラ整備を完了している市町もあることから、圏域全体でFM整備をしていくという状況にはありませんが、機会をみながら、情報共有を図ってまいります。

(その他)

【委員】

- 配布頂いた資料に対しては、意見はありません。
資料に対する意見と関係ありませんが事務局にお願いがあります。
実は、現在、空知総合振興局管内には北海道地域防災マスターとして189名の方が認定され活動している処です。
又、当中空知定住自立圏内には75名の方が地域防災マスターとして登録され各市町各地域で地域防災の一端を担って活動している処です。
その「地域防災マスター」の為に空知総合振興局では例年、地域防災マスターを対象に「フォローアップ研修」や「地域防災ミーティング」が開催されています。
只、開催地が岩見沢市の空知総合振興局内が主で数年に1回は、滝川市内で開催して頂ける様に事務局からも声掛けをして頂ければと思っています。

《事務局》

- 地域防災マスターの研修は、令和元年8月に滝川市を会場に開催を予定しておりましたが、台風上陸の影響により中止となりました。今年度は新型コロナウイルスの影響により開催されていないことから、引き続き今後も中空知管内での開催の実現に向けて空知総合振興局に対して要請を行ってまいります。（防災専門部会）

意見集約 コロナ禍における各分野での取り組みや課題

※別紙のとおり